


ワークショップ通信 VOL3

第3回会議 2023.11.17 @鉢形財産区会館

第3回ワークショップ会議では、寄居町教育行政の基本理念を中心に目指す子供像実現のための様々な取組について説明を行いました。

夢と心をはぐくみ 未来を拓く寄居の教育

基本理念に基づく5つの基本目標を定め、その達成に向けて20の施策、78の取組を展開しています。詳細は、寄居町教育委員会HPをご覧ください。

寄居町教育委員会HP 



児童生徒アンケート調査について

折原・鉢形小学校の5・6年生、城南中学校の1・2年生に対し、アンケートを実施しましたので、その内容及び結果について報告を行いました。

アンケートは、「人数の多い学校」・「人数の少ない学校」それぞれのメリット・デメリットについて選択式で回答いただきました。各問に対し、回答数の多かった内容を紹介いたします。

学校は、国語や算数など各教科の知識を学ぶだけではなく、子どもたちが、集団の中でいろいろな考え方に触れたり、協力し合ったりすることにより、表現力や問題解決能力、社会のルールなどを学ぶ場所でもあります。

このようなことを学ぶためには、「人数の多い学校」、「人数の少ない学校」それぞれの「良い点」・「良くない点」について考えてみましょう。

人数の「少ない学校」の良い点について

- 意見や感想を発表できる機会が多い
- 学校行事やクラス活動で、係や役割分担を務める機会が多くなる
- 他学年と交流する機会が多くなる

人数の「多い学校」の良い点について

- クラス替えができ、多くの友達と関わることができる
- クラブ活動や委員会の種類が多い

人数の「少ない学校」の良くない点について

- クラス替えができない
- クラブ活動や委員会の種類が少ない
- 体育の球技や音楽の合唱・合奏のような集団学習の人数が少ない

人数の「多い学校」の良くない点について

- 同じ学年でも交流が少ない友達が生まれてしまうことがある
- 同じ学年での交流が中心となり、他学年との交流する機会が少なくなる

中学校に進学するとき、不安なことや心配なことはありますか？(自由回答)

- ・友人関係について(小学校が違う友達と仲良くなれるか。新しい友達ができるか。上下関係があるのか等)
- ・勉強関係について(勉強が難しくなりついていけないか。テストや受験勉強が大変等)

「人数の少ない学校」とは… 1学年の人数が7～15人程度で、各学年1クラスの学級または、2学年で1クラスの学級としています。
「人数の多い学校」とは… 1学年の人数が40人程度で、各学年2クラスの学級としています。

Q&A

町から説明した内容や、今後の検討における疑問点等について参加者から質疑を受けました。

～ 質疑の内容について（一部抜粋）お知らせいたします～



Q 集約化となった場合、廃校となった学校の跡地利用についての考えは？また、避難場所はどうなる？

A 学校施設の方向性が決定していない現状においては、跡地利用・避難所ともに決定している事項はありません。

Q 案1、案3における施設の改修内容は？

A 長寿命化改修を想定しており、劣化した設備の改修や機能性の向上をはかり、今後30年程度の使用を見込んだ工事です。

Q 案2の新設校舎の規模は？
(特別教室等も計画されている？)

A 5・6年生の教室は、既存の城南中学校校舎内へ配置し、新設校舎には1年生から4年生の教室及び必要となる特別教室の配置を想定した規模です。

Q 集約化した場合の通学手段についての考えは？

A 通学距離が延びる児童への対応は町としてしっかりと考えていかなければいけません。現在ワークショップ方式で議論いただいておりますので、是非皆さん方で話し合ってください、ご意見やアイデアを踏まえて、町として対応を検討していきたいと考えています。

Q アンケート調査を城南中学校区の小中学校の児童生徒に限定した理由は？

A 学校施設の検討は、中学校区ごとに検討を進めているため、対象となる3校に限定しました。今後は、パブリックコメント等を実施するなど、幅広く意見を収集していきます。

ワークショップ情報館

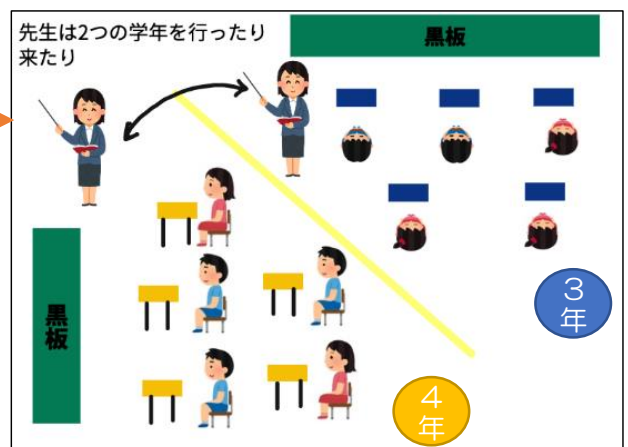
ここでは、ワークショップ会議において、重要となる内容について解説いたします!!
今回のテーマは『複式学級』についてです。

複式学級とは…

国の定める学級編制基準に照らして、児童又は生徒数が少ないために一つの学年の児童又は生徒だけでは学級の編制ができない場合に、2つの学年を1つの学級に編制するものです。

複式学級では、異なる学年が同じ教室で授業を受けるため、一方の学年が先生から直接指導を受けている間、もう一方の学年は課題学習することになります。

複式学級のイメージ



複式学級における町の対応

折原小学校児童数及び学級数 (R5)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
児童数	7	7	7	8	8	13
学級数	1	1	1	1	1	1

町では、複式学級における教育の充実を図るため、**町費で非常勤講師を配置し、1つの学年に対して1人の教員が授業を行う体制を確保**しておりますが、予算の確保に加え、**人材の確保**も大きな課題となっております。

問い合わせ先 寄居町教育委員会

担当 教育総務課 総務管理担当
電話 048-581-2121(内線 511)